

海外派遣留学生
フランス・ブルゴーニュ大学
留学報告書

学部学科・研究科専攻	国際学部国際学科		留学時学年	2 年
留 学 先	国	フランス	大学/機関	ブルゴーニュ大学
期 間	2025年 2月 8日 ~ 2025年 3月 12日			
	短期		計4週間	

[1] 参加した語学コースの時間数／科目名（受講科目・複数可）

・授業時間数：語学：68 時間 文化：16 時間 計 84 時間

・科 目 名：Classe 1A

時 間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9 時～12 時	9 時～11 時半	Free	9 時～11 時半	9 時～12 時	Free	Free
午後	13 時半～15 時半	13 時～14 時半	Free	13 時～14 時半	Free	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

先生：フランス人女性

生徒：1 クラス 20 人（日本人 10 人、その他：ロシア、アメリカ、スペイン、ボリビア、インド、ナイジェリア等）

授業：教科書、プリントを使用したスピーキング、ライティング、リスニング、リーディングの授業。宿題あり。テストあり。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

リヨン遠足：参加自由、参加費別途

授業の無い日や放課後は、スーパーへ買い物に行ったり、ショッピングモールで買い物をしたり、日帰りで少し遠出をすることもありました。（基本移動はトラムという路面電車。パリや地方へ行く場合には TGV や RER、メトロを利用。）

海外派遣留学生

フランス・ブルゴーニュ大学

留学報告書

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

大学内の図書館やレストラン（学食）

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 1 人で使用

様子：机、椅子 2 つ、ベッド、棚、ロッカー、シャワー、洗面、トイレ

0 階の共有スペース（自販機、ウォーターサーバー、外に卓球台等）

地下 1 階にコインランドリー（洗い 3 ユーロ、乾燥 2 ユーロ）

各階にキッチン（電子レンジ、オーブン、電子コンロ）

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

- ・授業はすべてフランス語で実施されるため、いつもは感じるものの出来ない新鮮な環境で授業を受けられることです。その中での学びや気づき、日本における普段の生活では見ることや経験することができないものでした。
- ・色々な国にルーツを持つ人と交流ができたことです。授業をはじめ、街中にも様々な人がいます。
- ・4 週間という短い期間の中で、どれだけ充実した時間を過ごせるか、調べて考えて自分だけのプランを練っていく工程がとても楽しかったです。
- ・とにかくどこを切り取っても絵になるということです。学校への行き返りはもちろん、風景や人々の様子など毎日たくさん写真を撮りたくなる日々でした。
- ・最後はパリで 3 泊し、有名な観光スポットや雑貨屋さん、スーパー、ショッピングモールなどを満喫し、お土産も沢山買うことができました。

● 苦労したこと：

- ・はじめは授業についていくことが大変でした。フランス語が飛び交う新鮮な環境である一方で、自分の未熟な部分に気づかされ、悩みました。しかし、そこを乗り越えることができるようになると楽しいと思えるようになっていきました。
- ・初めての海外ということもあり、携帯電話やネットの設定方法、施設や交通機関のチケットに苦労しました。特に初日は、成田空港から寮の最寄り駅までほぼ自分たちだけで移動しなくてはならなかったのが大変でした。
- ・行き返りの飛行機はどちらもアブダビで乗り継ぎをおこなうもので、とても長い移動時間であり、かつ日本とは時差が 8 時間ある為生活リズムをあわせたり、日本にいる家族や友人とは時間が合わず連絡が取りづらくなったりと、慣れるまでは心身共に疲れが出てしまうと感じました。
- ・円安ということもあり、物価が高く、特に食費をどれだけ浮かすことができるか、一方で自分の経験としてどこでお金を使いたいのか、これらのバランスを上手に取るのが難しかったです。

海外派遣留学生

フランス・ブルゴーニュ大学

留学報告書

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

授業や街中での活動を通して、特にリスニング力が向上したと感じました。また、普段の日本でおこなう授業では感じることはできない、現地の人が日常的に使う言葉や単語、発音など、身をもって学ぶことができました。さらに、授業を通して、積極的に声を挙げて発言する力も得ました。

2) 専門知識の向上：

フランスの文化や慣習など現地にある程度滞在しないと分からない部分を知ることができました。一歩外に出るだけで、多くの歴史的文化を（建物などを通して）感じることができ、また食材や人々の関わり方なども実際に学ぶことができました。

3) 自己成長など

日本は街中を歩いていてもスリなどにあうことは少なく、気を付けて生活しなくてはならないという意識をあまりしていなかったが、それに比べて海外は起こりやすく、特に観光客を狙ったものも多くあります。こうしたことから、自分の命は自分で守るということを学びました。それと同時に、ひとつ国境をまたぐだけで自分の知らない世界が広がっていることも知り、より一層自分が知らない景色をこれからは沢山みたいと思われました。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

不安な気持ちも沢山あると思うけれど少しでも挑戦したい気持ちがあるなら絶対に行くべきです！

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額（当時の日本円）
渡航費（旅行会社に支払った経費）	65 万
授業料以外の諸経費（教材費・課外活動・保険料等）	3 万
私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）	5 万（ほぼ食費）
現地からの奨学金がある場合	
お土産代や個人的な買い物	10 万
その他（ ）	
留学に関する費用の総額	83 万

海外派遣留学生
フランス・ブルゴーニュ大学
留学報告書



海外派遣留学生
フランス・ブルゴーニュ大学
留学報告書

